

上越 巻機山 神楽峰スキー
日程:2008年1月5(土)、6(日)
メンバー:L 白土(記)、菊地、奥平

巻機山はまたしても藪スキー、神楽峰はパウダーを楽しめた。

行程:

1/5(土)清水 6:50~8:30 米子橋~12:00 井戸尾根 1200m 付近~15:00 清水

12/6(日)第四リフト終点 8:30~9:45 稜線~11:30 中尾根ピーク~12:00 スキー場

1/25000 地形図:巻機山、苗場山

1/5(土)巻機山

巻機山は過去に2回スキーで来ているがいずれも途中で敗退している。年末年始の降雪を期待して計画した。いつものように清水の

道路脇に車を止めて出発する。米子橋までは林道だがトレースがなくラッセルとなる。数日内には入山者がいないようである。天気はよい。米子橋より井戸尾根に取付くがだんだん藪がうるさくなる。今回も藪に悩まされての修行スキーだ。時間もかかり快適な滑走もみこめずモチベーションダウン。井戸尾根上部の無木立斜面よりはるか手前で敗退色濃厚となり、1200m 付近から下ることとする。シールをはがし、いざ滑るにも藪だらけで時間がかかる。それでもわずかな部分でターンを試みる。日差しは強く暖かい。米子橋で大休止してのんびりする。あとは林道をささっと下って清水に着いた。入山前からわかっていたが、やはりこの時期に清水からの山頂往復には気合が必要。米子橋付近にベースを設けて暗いうちに出発するのが必須だ。もしくは3月以降に藪が収まってからが無難かもしれない。



林道をラッセル



藪だらけ

1/6(日)

かぐらみねスキー場の朝一ロープウェイで出発する。スキー場トップらシールをつけて登りはじめる。先行者もいてトレースがしっかりしている。まるで登山道のような。さすがに標高が高いので藪もなく、天気がよくて気持ちいい。稜線からは苗場山や平標山、谷川方面の山がたくさん見えた。まずは神楽峰山頂から東斜面を滑走する。ファーストトラックで気持ちいい。ややパウダー。登り返して中尾根に向かう。他の人もどんどん上がってくる。中

尾根の稜線を少し下り、リフトから見えた良さそうな南側の斜面に滑りこむ。ゲレンデのように広い斜面で気持ちよく滑る。そのまま谷を滑り下ってあっというまにスキー場に戻った。この辺りはアプローチが楽で、そこそこ楽しめるので山スキー入門エリアというのもうなずける。その後スキー場で練習する。圧雪ゲレンデは滑り易いが面白みがなく、すぐに飽きてしまった。やはりバックカントリーが楽しいものだ。



神楽峰東面を滑走後の登りかえし
我々のシュプールが残る